

第1章 北広島市のあらまし

1 市勢の概要

(1)位置及び地勢

北広島市は、石狩平野の南部に位置する周囲約52.5km、総面積118.54km²で北西側は札幌市、北は江別市、東は千歳川をはさんで長沼町と南幌町、南は島松川を境界として恵庭市に接しています。

地形は、南西部にある島松山(標高492.9m)を最高に、北東方面に標高100m前後の波状台地が広がっています。市内を流れる島松川や輪厚川などの河川は、そのほとんどが千歳川を経て石狩川に合流し、日本海へと注いでいます。

地質は、大部分が洪積層からなっており、南西部の丘陵地帯では畑作や酪農、北東部の低地では水田を中心に活用されています。

山林は、南西部の島松川、仁井別川沿い及び野幌森林公園から中央部に広がる国有林、ゴルフ場等に見られる民有林が主なもので、これらの森林がさまざまな生物を育てています。

(2)気象

気候は、亜寒帯湿潤気候の裏日本型(日本海側)に属しており、西部から北東方向にのびる波状台地を境として、局地的な気候変化がみられることもあります。

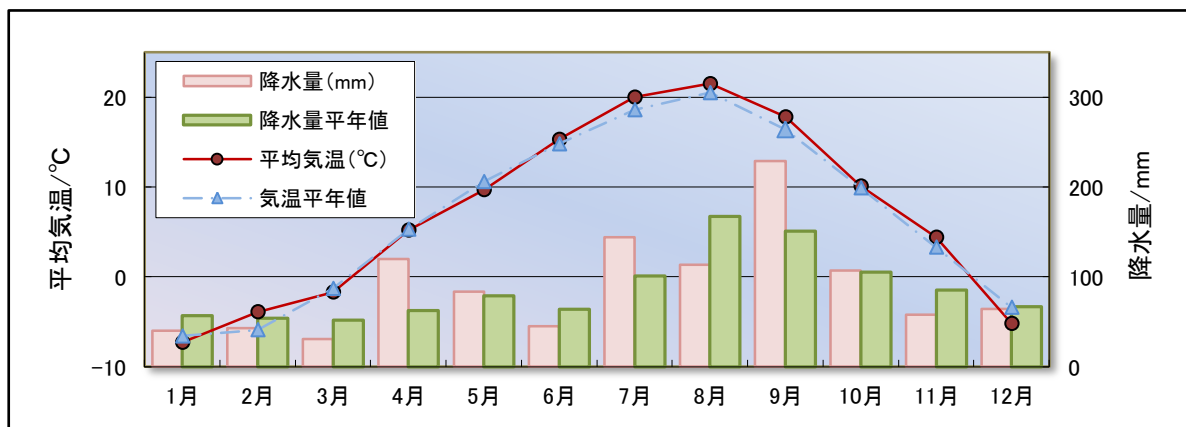
冬は、北西の季節風が卓越して雪が降りやすく、夏は、太平洋高気圧の影響で南東の風が吹き、日中晴れる日が多くなりますが、太平洋沿岸から侵入してくる海霧の影響を受けて朝晩に曇ることもあります。また、オホーツク海高気圧が優勢な年は、冷涼な北東気流の吹き出しで気温があまり上がらず、冷夏となることがあります。

平成23年の年平均気温は7.2℃、最高気温は33.1℃(8月)、最低気温は-23℃(1月)であり、年間降水量は1078mm、最深積雪は93cm(2月)となっています。

(3)交通

北広島市は、JR千歳線のほか、市の西部を道央自動車道と国道36号、北部を国道274号が走り、また東部を主要道道の江別恵庭線(道道46号)が通っており、札幌圏と北海道中部及び東部を結ぶ交通の要所となっています。

そのほかに、市の東部地区と西部地区(大曲方面)を結ぶ道道栗山北広島線(道道1080号)は、市民の主要な生活道路となっています。



資料:札幌管区気象台(地域気象観測所(アメダス):恵庭市下島松829番地)

図1-1 平成23年の平均気温と降水量

2 人口・産業

(1)人口

住民基本台帳によると、北広島市の人口は、道営北広島団地の開発が始まった昭和45(1970)年以降、増加しており、その後も宅地供給が進むにつれて漸次増加し、平成4(1992)年7月には5万人、平成16(2004)年7月には6万人を突破し、現在に至っています。(図1-2)

一方、第1次産業においても、農業人口が減少傾向にあり、農業者の高齢化など農業を取り巻く情勢は益々厳しくなっています。(図1-3)

(2)産業

北広島市は、札幌市を中心とした経済地域にあり、卸・小売業・サービス業に代表される第3次産業は就業人口も増加しており、順調に発展を続けていますが、食品品製造業・金属製造業などの第2次産業の就業人口は減少気味に推移しています。



JR北広島駅東口

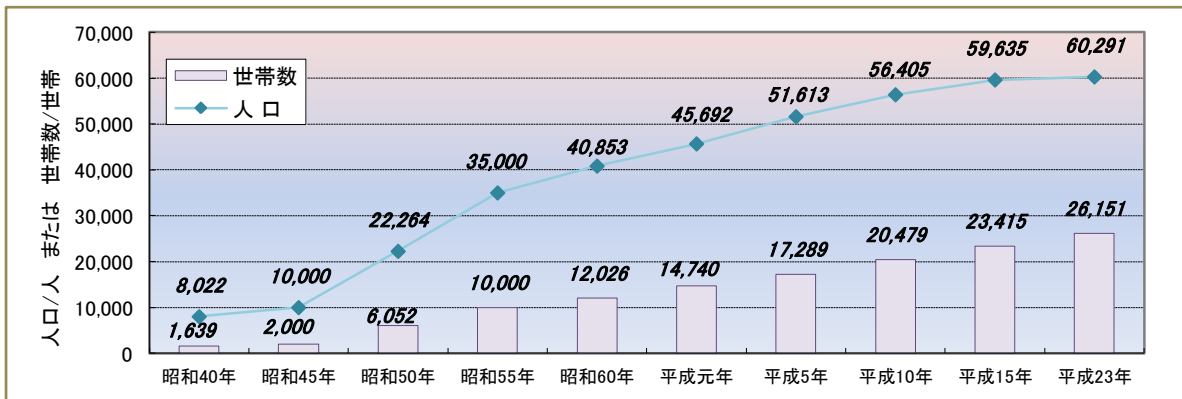


図1-2 人口・世帯数の推移 資料:住民基本台帳(各年度末:3/31 現在)

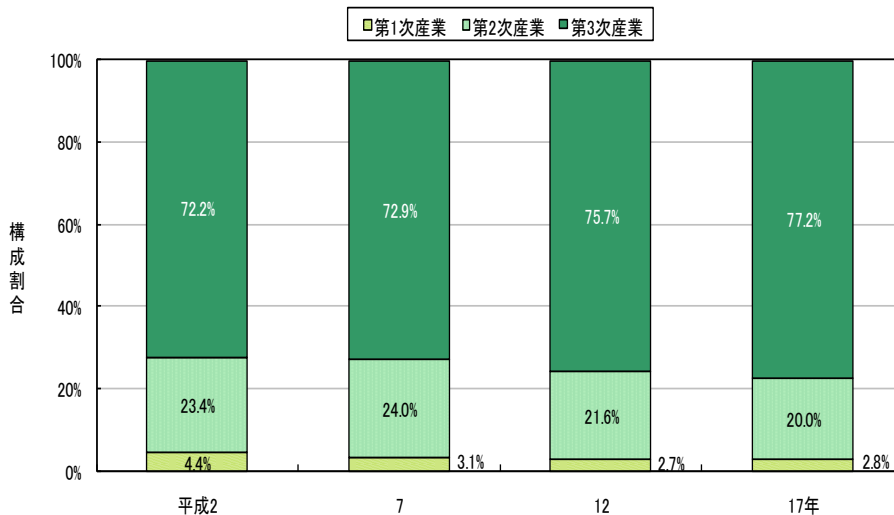


図1-3 産業別人口 資料:政策調整課「国勢調査」